

「ゼロカーボンベースボールパーク」による 官民連携のまちづくり

2025.6.12 松江ゼロカーボンサミット

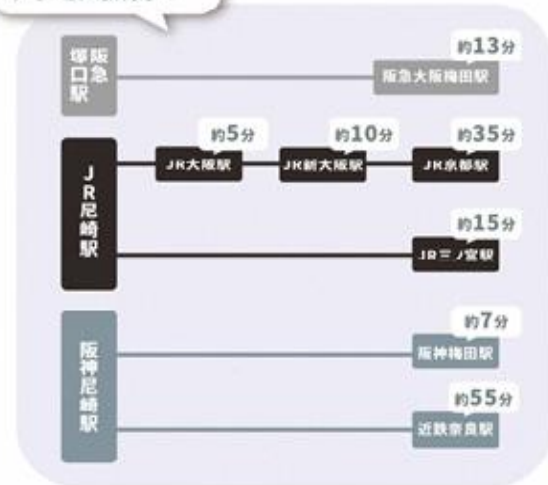
尼崎市環境部 北川貴宏

尼崎市の概要 ①

人口は約45万人

尼崎市の人口
5年連続
転入超過↑
(2016年～2020年)

大阪まで10分、
神戸まで15分。
アクセス抜群！



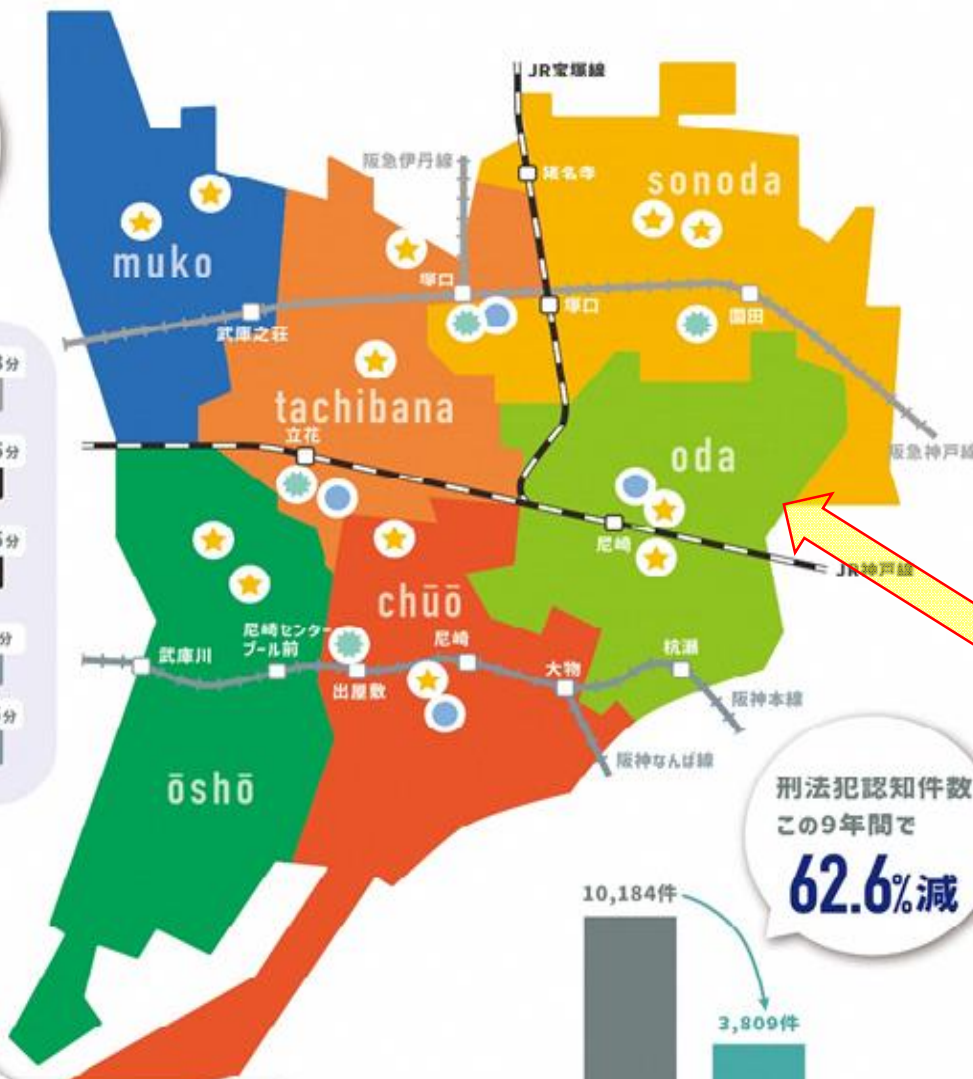
「まちのイメージが
良くなった」と答えた人の割合

55.7%

※2021年度市民意識調査

91.3%

「尼崎市に住んで良かった」と答えた人の割合



- 本庁、サービスセンター
(住民票、印鑑証明などの発行)
- 保健所、南北保健福祉センター、いくしあ
(保健や福祉、子育てに関する相談など)
- ★ 生涯学習プラザ
(各地域の学びの拠点)

刑法犯認知件数
この9年間で
62.6%減



尼崎市の概要 ②

産業都市として発展

➤ 人口集中や産業の隆盛による都市化が急速に進展

- 高度経済成長期における工業生産の拡大に加え、人口急増への対策として、土地区画整理事業により宅地の供給や都市基盤の整備を重点的に実施

➤ 基幹交通網が発達し物流機能が向上

- 名神高速道路や国道43号といった広域的な基幹交通網の整備により、都市間相互の物流機能が向上

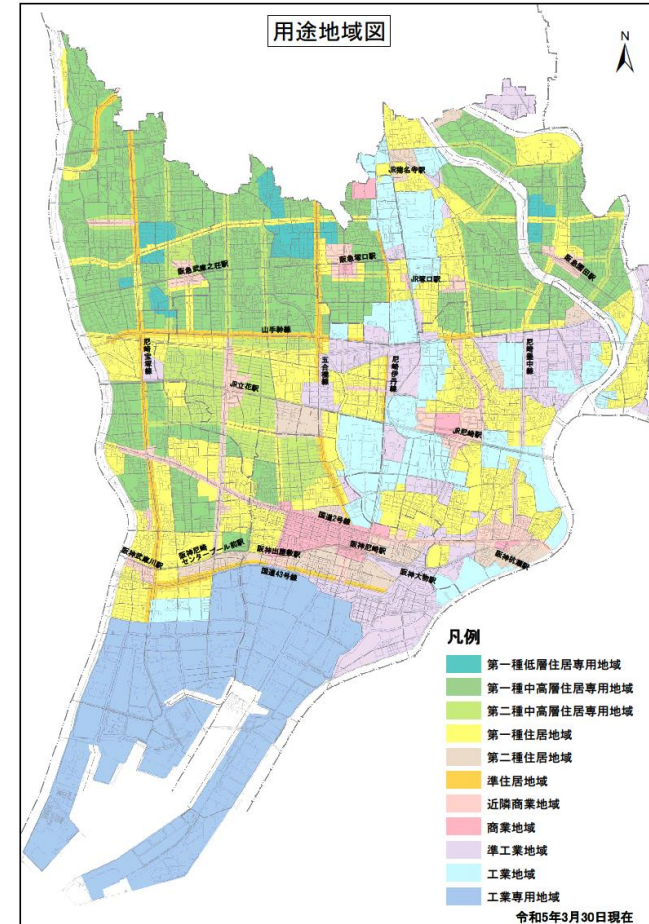
コンパクトな市域における産業機能・ 都市機能の集積が大きな強み

(現在の市内用途地域割合)

- 工業地域：36.6%
- 住居地域：57.6%
- 商業地域：5.8%

一方で…

財政面の悪化や公害問題など、様々な弊害への対応が必要となった



環境課題への対応

良好な環境の確保に向けた取組

➤ 平成24年度 「環境モデル都市」に選定

- ・ 低炭素社会の実現に向け高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジしている都市として選定

➤ 令和3年度 「気候非常事態行動宣言」を表明

- ・ 2050年までにCO2排出量を実質ゼロとする脱炭素社会を実現するため、日々の行動を変えていくことを宣言

➤ 令和3年度 「地球温暖化対策推進計画」を改定

- ・ 2030年度のCO2排出量を2013年度比28→50%以上削減に引上げ
- ・ 再生可能エネルギーの地産地消や省エネ型建築物・設備の普及などの施策推進

➤ 令和5年度 「尼崎市環境基本計画」を改定

- ・ 環境・資源には限りがあることを前提に、市民、事業者、市が互いに協力し私たち一人ひとりの意識・行動を変えていくことで環境と調和したまちの実現を目指す

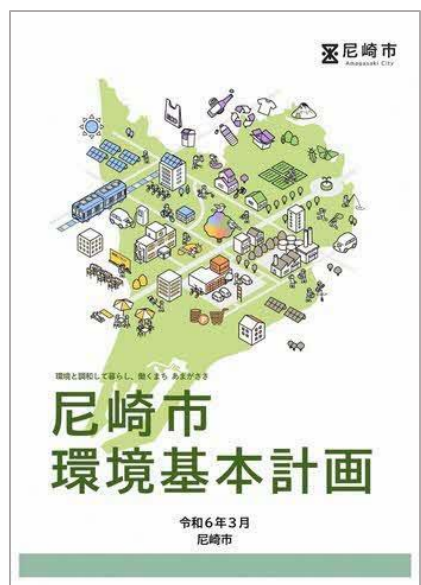
➤ 令和6年度 「地球温暖化対策推進計画」を改定

- ・ 脱炭素先行地域の取組の推進を明記
- ・ 再生可能エネルギー導入の指標を設定(2030年度に太陽光発電設備導入量4万kW)
※10kW 未満の設備対象



ECO未来都市・尼崎 宣言

尼崎版グリーンニューディール



市の課題と阪神タイガースファーム誘致の取組

市(大物地域)の課題

- 全市と比較して大物地区は人口の増減率が大きい(全市 98% → 大物地区 95%)
- 小田南公園は防災公園として国庫補助を受けて整備。財政難により一部は未整備のまま



タイガースファームの課題

- 本拠地鳴尾浜球場(西宮市臨海部)が手狭(観客収容数500人)で、老朽化が進んでいる。(開場後30年経過)
更に交通の便も悪い。

市と阪神タイガース双方の課題解決
⇒南部地域(阪神沿線)の活性化

取組経過

平成28年度	阪神グループ誘致について協議開始
令和2年秋頃	小田南公園を移転候補地として選定
2年11月	誘致に関するアンケート調査及び説明会
3年5月	施設移転に向けた「基本協定書」の締結
4年4月	第1回脱炭素先行地域に選定
5年3月	再整備工事の着工
7年2月	ゼロカーボンベースボールパーク竣工
7年3月	供用開始

脱炭素先行地域の選定

尼崎市と阪神電気鉄道株式会社は、環境省が実施した第1回脱炭素先行地域の公募に共同提案で応募し、**令和4年4月26日付けで選定**

計画概要・スケジュール

➤ **タイトル:** 阪神大物地域ゼロカーボンベースボールパーク整備計画～地域課題解決型!官民連携事業～

➤ **計画期間:** 令和4～9年度

➤ **総事業費・交付上限額**

総事業費160億円、交付上限額35億円

➤ **計画概要**

・人口減少が進む市南部大物地域の小田南公園に阪神タイガースファーム施設が移転することにあわせ、同公園内の野球場、練習場等のスポーツ施設、大物公園に**太陽光発電・蓄電池**を導入

・不足する電力をごみ発電の余剰電力を活用し**ゼロカーボンベースボールパーク**を実現

・市内の阪神電車の駅（6駅）及び尼崎車庫を太陽光等により脱炭素化するとともに、EVバスの導入、**ゼロカーボンナイター**の開催等



ゼロカーボンベースボールパークの概要

Low-E複層ガラス、高効率空調機、全熱交換器、調光機能付きLED照明等の採用や、それらの電力消費量を「見える化」するエネルギーマネジメントシステムの導入により、野球施設としては初めて「**ZEB Oriented**」認証を取得



スコアボード裏
太陽光発電設備(26kW)

壁や屋根には断熱素材を使用するとともに、高効率空調機、全熱交換器、調光機能付きLED照明等の採用や、それらの電力消費量を「見える化」するエネルギーマネジメントシステムの導入により、快適な室内環境を保ちながら、電力使用量の削減が可能に。

また、室内練習場・虎風荘の屋根に太陽光発電設備(708kW)を設置し、「**NearlyZEB**」認証を取得



タイガース練習場

日鉄鋼板 SGLスタジアム 尼崎

小田南公園野球場

虎風荘

室内練習場

多目的広場

大物川緑地

ゼロカーボンベースボールパークでは、太陽光発電・蓄電池による自家発電・自家消費に加え、クリーンセンター（ごみ焼却施設）で発電されたCO2排出量ゼロのクリーンエネルギーを活用することで、同施設で使用する電力の脱炭素に取り組んでいます。

日鉄鋼板 SGLスタジアム 尼崎 等の概要



全体敷地面積		敷地面積 約74,387㎡ ※第1工区:約56,183㎡ 第2工区:約18,204㎡	
野球場	日鉄鋼板 SGLスタジアム 尼崎		
	グラウンド	両翼95m、中堅118m ※方角やグラウンドの形状・仕様は甲子園球場と同じ	
		12,647㎡	
		内野:黒土 外野:天然芝 外野フェンス際:人工芝 ※ファールグラウンド一部は人工芝(甲子園同様)	
	スタンド座席数	約3,600席(車いす席:20席(介助者席同数)) ※外野800人収容可能(座席は無)	
	ナイター照明	LED照明 6基(高効率照明)	
	防球ネット	(外周)内野～外野:55m 外野55～30m、(内野)観客席最上部の高さまで	
	バックスクリーン	ビジョン(19.2m×7m、高効率照明) ※甲子園:約30m×約8m	
	ブルペン	ホーム・ビジター側ともに各2レーン	
	ランニング走路	グラウンド外(外野スタンド)に専用走路	
	環境設備	太陽光パネル、ZEBOriented(省エネ▲30%～▲40%以上)	
	(仮称)小田南公園野球場 (仮称)タイガース練習場		
グラウンド	両翼:90m 中堅93m	内野練習場	
	内野:黒土 外野:天然芝	内野:黒土 その他:天然芝	
収容人数	観客席50席	—	
ナイター照明	LED照明4基(高効率照明)	—	
室内練習場	面積	建築面積 6,175㎡ ※約65m×約90m	
	内野	60m×60m、ダイヤモンド有(内野守備練習可)	
	ブルペン	6レーン	
	打撃練習場	打撃練習6レーン ※内野エリア3レーン、固定3レーン(ボール自動回収)	
	環境設備	太陽光パネル、蓄電池、ZEBReady(省エネ▲50%以上)、高効率照明他	
	その他	コンディショニングエリア(トレーニングエリア) 更衣室(シャワー有)、ロッカールーム等諸室	
選手兼クラブハウス	面積	建築面積2,184㎡ 延床面積3,671㎡(1階 2,152㎡ 2階 881㎡ 3階 638㎡)	
	部屋数	38部屋 ※将来対応として5部屋増設可	
	トレーニングルーム	約300㎡ ※現在(鳴尾浜施設)は約220㎡	
	選手ロッカー	約260㎡ ※現在(鳴尾浜施設)は約120㎡	
	環境設備	太陽光パネル、ZEBReady(1階クラブハウス部分のみ。省エネ▲50%以上)、高効率照明他	
	その他	流水りハビリ・トレーニングプール施設 ※現在(鳴尾浜施設)は無	

ゼロカーボンベースボールパークとその周辺の取組

➤ キーワードとコンセプトの設定

キーワード：**青空**

コンセプト：**未来をずっと青空にする球場、尼崎から。**

スローガン：**スリーECO、チェンジ！～ひとり3つのエコで、未来をかえよう～**

コラッキーが「スリー
ECO、チェンジ！」
をスローガンに環境
啓発



パークのマスコットキャラクター「コラッキー」

大物駅～小田南公園をこのコンセプトの装飾とすることで一体感を演出



大物川緑地装飾



ゆうあい歩道装飾



大物駅装飾



周辺の取組



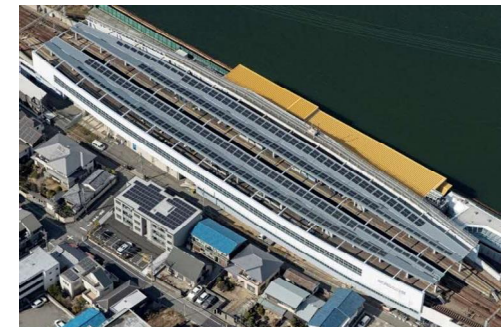
阪神バス(株)に導入されたEVバス
6台運行中



大物駅に導入された太陽光発電
(148.5kW)



杭瀬駅に導入された太陽光発電
(143kW)



尼崎センタープール前駅に導入された太陽光発電
(181.5kW)

脱炭素先行地域の取組による効果

➤ 期待される効果

①交流人口の増加

- ・阪神タイガースファーム施設整備等に伴い来園者数年間30万人増加
- ・既存の地域資源との連携等により交流人口年間50万人増加

②経済波及効果の発生

- ・駅周辺の店舗増加や、周辺商店街の店舗増加
- ・経済波及効果額700億円以上の発生

③防災機能の向上

- ・地域住民の避難場所の確保や停電時の非常用電源の確保

➤ その他の効果

シティプロモーション効果として…

メディア露出の増加、環境白書の掲載、視察も多数 など



R5.5起工式の様子



R5.5起工式の様子



R5.12環境大臣を表敬訪問

関連の取組（R5年度）

機運醸成イベント

- 「ライブビューイング」の開催(R5.10)
- 「優勝及び日本一報告会」を開催(R5.11)



ライブビューイングの様子



優勝及び日本一報告会の様子

- その他、市内の関係団体と協力し、様々なイベントを実施

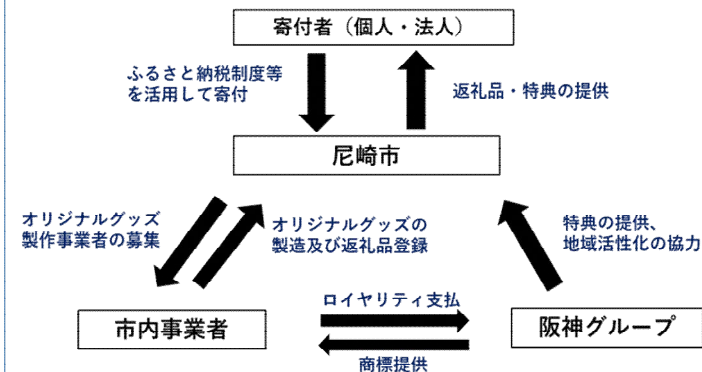
- 阪神タイガースファーム（2軍）活性化寄付金の創設
- 市内企業によるオリジナルグッズの開発



© 阪神タイガース



事業イメージ



阪神タイガースオリジナルグッズ（例）

タオル、Tシャツ、鞆、ボールペン、アクリルスタンド、お菓子 など

オリジナルグッズ以外の特典（例）

バックヤードツアー、開業記念品 など

※阪神グループと要協議

関連の取組（R6年度）

機運醸成イベント

- 阪神甲子園駅前でブース出展(R6.6)
- 開業100日前記念セレモニー開催
(R6.11)
- コラッキーが市長訪問(R7.2)



開業100日前記念セレモニーの様子



コラッキー市長訪問の様子

開業・開業後イベント

- ゼロカーボンベースボールパーク竣工式
(R7.2)
- 寄付者限定 開業前内覧会を開催
(R7.2)
- 阪神タイガースファーム（2軍）
歓迎セレモニー(R7.2) など



ゼロカーボンベースボールパーク
竣工式の様子



阪神タイガースファーム（2軍）
歓迎セレモニーの様子

関連の取組（R7年度の取組一部紹介）

ゼロカーボンベース
ボールパークでの
初イベント



阪神タイガース×尼崎市

エコふえす
エ虎フェス

6月14日(土) 10時～16時

6月15日(日) 10時～15時

9月には、SDGs
イベントも実施予定！

- ・環境について学べる展示や体験ブースを出展
- ・エ虎クイズラリー
- ・コラッキーとエコあま君とのグリーティング
- ・コラッキー、エコあま君と近隣の子どもたちによるダンス など

阪神タイガース × 尼崎市

あまトラフェス

Supported by

 尼崎信用金庫
AMASHIN



9/27 (土) 9/28(日)

まちづくり協定の締結

まちづくりにも発展

阪神タイガースファームの取組にとどまらず、阪神電鉄(株)とは、本市南部地域の活性化を目的とした「まちづくり協定」を締結

➤ 連携事項

- (1) 駅を中心としたまちづくりや交通機能の強化等に関すること
- (2) 地域資源を活用したまちの賑わいづくりに関すること
- (3) 都市防災の強化や暮らしの安全安心の向上に関すること



中央公園のリニューアル（阪神尼崎駅北側）



地域資源を活用した観光周遊ルートの確立

ご清聴ありがとうございました

